

中村哲著述アーカイブ

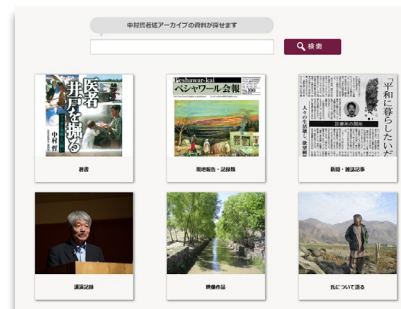
NAKAMURA TETSU DIGITAL ARCHIVE

中村哲医師の仕事を、言葉を、志を、デジタルで次の世代へ

遠いアフガンの地で、35年にわたり医療・水事業・農業に心血を注いでこられた中村哲医師(1946-2019)の意志と仕事を次代に伝えるため、九州大学附属図書館「中村哲著述アーカイブ」では、氏が生前に書き著した文章や発した言葉をデジタルデータの形で収集・保存し、インターネット上で公開しています。

アフガンの問題は、世界中の様々な問題がそのまま投影されたものだと氏は語っています。現地事業の合間を縫って、支援者への報告や全国を飛び回っての講演、大小様々なメディア、著書などを通して氏が伝えてきた言葉は、戦争とは平和とは何か、近代化・グローバル化・温暖化は何をもたらすのか、命とは何か、幸せとは何か、自分の姿や現代社会を厳しく見つめなおすことを我々に迫ってきます。

このアーカイブが、様々な分野において活用されるとともに、次のだれかの仕事につながっていく、その橋渡しになることを願っています。



著述アーカイブはこちらから→

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/nakamuratetsu>



資料収集へのご協力のお願い

本アーカイブでは、中村氏による著述や関連資料を広く収集しております。

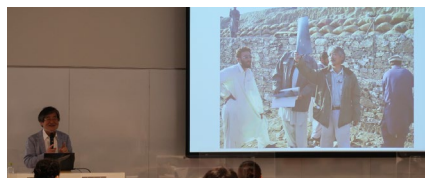
資料(ご自身が著作権または公開の権利を持つもの)をお持ちの方は、ぜひご提供ください。

詳しくは資料提供Webフォーム、または下記の問合せ先にご連絡ください。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/webform/tetsu>



中村哲先生の志を次世代に継承する九大プロジェクト



2020年、九州大学では「中村哲先生の志を次世代に継承する九大プロジェクト」を立ち上げました。

パシファール会との相互協力協定の下、氏に関わる学生団体や地元メディア等とも連携しながら、2021年より「中村哲著述アーカイブ」、展示スペース「中村哲医師メモリアルアーカイブ」、基幹教育総合科目「中村哲記念講座」の、3つの取組みを柱に活動しています。

https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/pj_nakamuratetsu



(お問合せ) 九州大学附属図書館 eリソース課 リポジット係

〒819-0395 福岡市西区元岡744

TEL: 092-802-2459 / Email: qir@jimu.kyushu-u.ac.jp



九州大学附属図書館
Kyushu University Library

中村哲氏の著書

出版者から許可を得て図書の本文を公開中

- 《全文公開》『空爆と「復興」』『丸腰のボランティア』
診療ガイドライン『Hansen's Disease』
講演録『平和の井戸を掘る』
- 《一部公開》『パシャワールにて』『辺境で診る辺境から見る』
『医者、用水路を拓く』等の代表的な著書
事業報告書『緑の大地計画(改訂版)』



『医者井戸を掘る』
石風社(2001)【本文公開中】



現地報告・記録

活動記録や報告書、現地活動で実際に使用された資料など

- パシャワール会報…0号以降の全号を公開中。各号の目次が通覧できます。
- 現地からのメール報告…2008年以降、氏が事務局にあてて現地の状況を報告したメール
- 記録写真 / 用水路計画の手書きスケッチ / ワーカーの教材



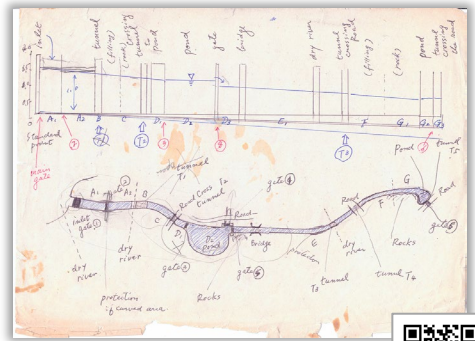
パシャワール会報
0号(1983)



【会報目次】



[2019-04-03-01]
現地からのメール報告



[A-G]用水路概略図
縦断・平面図(2003)



新聞・雑誌記事

新聞・雑誌等への寄稿・連載・インタビュー記事など
発行者の許可を得たものから順に公開中

講演記録

短い日本滞在期間中に精力的に行われた講演の記録
講演会開催記録 / 投影用スライド / 講演録 など

映像

活動を取り上げた映像作品・テレビ番組の記録

氏について語る

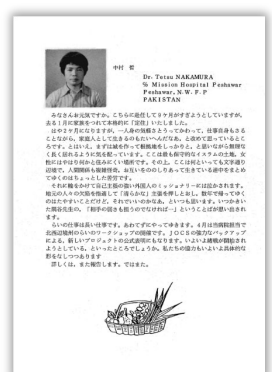
第三者が氏について記したもの

- 学友による青年時代の回想録
- 氏とその活動を文化人類学の視点から捉えた
研究報告書など



パシャワールから沖縄へ

『沖縄タイムス』連載
(2003-2004)



祈りの手紙
(1983-1990)
日本キリスト教海外
医療協力会(JOCS)

パシャワールへの派遣
決定後の、氏と家族の
様子を伝える寄稿文

中村哲著述アーカイブのトップページ
から資料を検索できます。

水路

検索

中村哲著述
アーカイブ
NAKAMURA TETSU
DIGITAL ARCHIVE

(2026.1)